

TAC 電験3種で初の模試

8月実施、全国3会場で

国家資格取得をはじめとした教育事業を手掛けるTACは、電験3種の予想全国公開模試を8月4日に行う。渋谷校、名古屋校、梅田校の3会場で実施。全国規模の公開模試は、同様の講座を開設する予備校を含めても

初の試みだ。自身の得点や科目別総合順位、現時点での合格率判定（A～Eの5段階）を知ることができる。各種成績は8月9日に通知予定。会場受験ができない受験生には、自宅受験も受け付ける。

同社ではこれまで、公認会計士や税理士などの各講座で模擬試験を実施。受験生の間でも好評を博してきた。試験直前期の弱点克服につながることから、電験3種にも導入する。

受験対策上の意味合いが強い公開模試だが、立ち上げに携わった同社の長谷川知世さんはもう一つの狙いを強調する。「受験生と話す中で『答えを覚えるくらい過去問を何周も解き、復習もしているのに本番の会場に行くとき頭が真っ白になって解けない』という声が多かった。実力を出すための練習も必要なのは」。鉛筆と電卓の音だけが響く

試験会場は、異質の間だ。独特な緊張感に慣れる意味でも、「予行練習」は重要といえる。同社によると、現時点で予想を上回る申し込みが集まっているという。公開模試では過去の試験に即した全てオリジナルの問題を出題。実力の確認にも最適だ。詳細は同社ウェブサイトで公開している。